

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		- 利用者の年齢や利用人数に応じて、スポーツセンターやくろしおアリーナなどを利用し、広いスペースの中で活動できるようにしている。 - バドミントンなどラケットを扱うスポーツを行う時に、狭いと感じるが、屋外や外部施設での運動を取り入れている。
	2	職員の配置数は適切であるか		4		- スタッフ3～4名、サポーター1～2名で活動するよう配置しているが、サポーターさんが確保できない場合もある。その時は、プログラムを工夫し、安全に活動できるよう心がけている。 - どうしても人数が不足する日がある。 - 送迎時にサポーターが確保できると良い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		- 子どもたちが安全に活動できるよう工夫しているが、障がい（視覚、聴覚など）に対しての配慮はできていないところもある。 - 肢体障害者には、対応できている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			- 月に1回、スタッフ全員でミーティングを行っている。 4事業所間で、重複利用をしてくれている子どもさんの支援に役立たせるよう、情報共有できる話し合いを設けている。 - その都度、デいの振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			年に1度アンケート調査を実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			アンケートを行ってから、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	- 支援員さんなど外部の方からのご意見や、評価をいただいた時には、その後意見を基に、改善に努めている。今後も、見学に来ていただいた時などに、アンケートをお願いするなどを検討し、より良い支援につながるよう努めていきたい。 - システムとして、外部評価を行っていない。（第三者評価委員会など）
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	3		- 研修のお知らせは確認しており、参加できるものがあれば参加するようにしている。 - 昨年度に比べると、研修に参加できた。 - 参加できる研修があれば、出勤調整をして受講している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		- 保護者の方のニーズと、スタッフを感じる子どもさんの課題を照らし合わせながら、計画を作るようにしている。 - 職員が意見を出し合い、アセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		4		- 記録を用いて、標準化されるとは言いづらい。 - トークンボード等を使用しているが、活動時間や他の子どもさんに気を取られ、使えていない時がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			- 毎月ミーティングを行い、プログラムを作成している。 - スポーツ大会などに参加することがあり、大会前になると強化練習を行ったり、子どもに応じた活動プログラムを立案している。 - 個人競技（集中力の向上）や団体競技（コミュニケーション力の向上）なども交えて、運動プログラムを考えている。 - 月一回ミーティングで立案し、修正もその都度話し合っている。 - もう少し早く草案を出すと、より良くなると感じる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			- 毎月いろいろな活動に取り組めるようプログラムを変えているが、同じプログラムでも内容を変えるなど工夫している。 - なるべく同じ活動にならないよう努力している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		- 長期休暇は、普段できない活動を取り入れるようにしている。 - 四季折々の自然活動なども取り入れている。 - 長期休暇ならではの課題（生活リズム、食事etc）にも着目する。 - ウォーキングやサイクリングで、心のリフレッシュに取り組んでいる。課題の設定までは取り組めていない。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		- 基本的には集団活動だが、子どもさんの特性や必要性に応じて、個別活動を取り入れるようにしている。 - その日の子どもさんの様子を見て判断し、柔軟に対応している。 - 子どもの到着時間に差が出るので、事前にスタッフ配置や内容をミーティングで打ち合わせを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		- 送迎やプログラム、人員配置をミーティングで確認している。 - サポーターには、送迎時に伝えるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		- その日の振り返りは難しいが、翌日に振り返りを行い、子どもの変化や気付いた点を共有している。 - 振り返りは必ず行うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1	- その日の記録は、一週間以内に書くよう心がけている。 - できたことや、こうすれば良かったと思うことも記入している。 - 記録を即時につけられていない。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		半年に一度はモニタリングをしているが、子どもの状況に応じて定期的に状況を確認するようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	1	3	子どもに応じて、自己効力感の向上をベースとして、他者との関わりや、視覚認知へのアプローチなど幅広く取り組む。
係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		- ソーシャルワーカーが参加するようにしている。 - 今後、曜日担当者も同席できる時は参加をさせて頂き、子どもさんや保護者の方の気持ちをより知る機会がほしい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	2	- 子どもによって、共有の頻度に差がある。 - 現在はないが、体制のとれる準備と心づもりはある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	- 現時点ではないが、今後体制と取れるよう検討していきたい。 - 体制が取れば、緊急時の備えて一覧表の作成を考えたい。 - アレルギー疾患による制限は、その都度保護者に確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	小学校低学年で利用開始になる子どもが少ないため、就学前の関係機関との情報共有は行っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	- 今年度から卒業する子供が出てきているが、実習のタイミングにスタッフ何名かが見学に行き、情報提供を行った。 - 今後、デイを卒業する事例が多数出てくるので、楽しく社会活動するための引継ぎをしっかりと行いたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	- 児童発達支援センター等の専門機関とは連携できていない。 - 今後、事例によっては必要だと感じる。
係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	- 毎年イベントを開催し、交流できる場を作っているが、コロナの影響で中止となったイベントも多かった。 - イベントで行っている。 - 今後、障がいの有無に関わらず、色々な団体等と交流を持ち意見交換や受け入れ先が増えればと思う。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			4
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	3	- 送迎時、保護者の方にその日の様子を伝えるようにしているが、ゆっくり話ができない時もあり、詳しく伝えることができない時もある。 - 変わった様子や心配な点があれば、電話やラインで伝えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	- ペアトレはできていないが、保護者の状況に合わせて、ストレングス視点をもって、力づける声がけを心けている。 - アドバイス等は行っている。 - ペアトレについては、コロナのためできていないが今後行いたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	契約時に、説明している。支援内容は実際に見学してもらったり、定期的に伝えるようにしている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2	□保護者の方から相談があれば、ゆっくりお話をする機会を作っているが、知識不足なところがあり、勉強がより必要だと感じている。 □保護者の方から相談があった時は、部所で共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	□今年度は、コロナのため開催できなかったが、今後もコロナの状況を見ながら開催予定である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	2	□その都度、すぐに事業所内で話し合い、対策をとっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	□プログラムは毎月予定表を送っているが、Uプロ通信「なないろ」は年に一回ほどしか出せていない。
	35	個人情報に十分注意しているか	4		□お手紙や書類は入れ違いを防ぐため郵送している。 □写真を撮影する際も気を付けている。 □特に、写真や動画の取り扱いに注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	□視覚優位の子どもに対しては、紙に書いて伝えるなど工夫している。 □保護者の方に対しても、電話やLINEなど連絡手段を変えるようにしている。 □スケジュールやジェスチャーなどの視覚的支援や、指示を行う際に注目を向けるルーティーンを行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	□地域の方も参加できる行事は開催できないが、貸館等は地域の方もUプロを利用できるようにしている。 □アートイベント等を地域の協力を得ながら行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3	□契約時には保護者の方に説明をしているが、その後説明をする機会を作ることができていない。 □感染マニュアルは、ブログで報告しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	□年3回行っている。 □Uプロ社屋だけでなく、普段活動している場所（スポーツセンターや市営体育館など）でも、訓練を行うようにしている。 □避難訓練の様子を、ホームページのブログで紹介している。 □定期的に訓練は行っているが、より実効性のある訓練が必要と考える。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		4	□全員ではないが、スタッフが参加し、情報を共有するようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	1	□身体拘束を行うようなことはないが、今後必要だと考えられるようなことがあると思われる時は、保護者、関係機関、警察などと連携を取り備えるようにしたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4	□食事を提供する機会はないが、イベント等を行った際、食事を要する時には、必ず保護者に確認し対応している。 □食物アレルギーのある子どもが数名いるが、食事提供を行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		□事業所内だけでなく、法人全体で行っている。